

令和 7年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：医療人材課
担当名：看護・医療人材担当
内線：3543 (単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
S3	看護師等養成所ICT活用支援事業			一般会計	衛生費	医薬費	保健師等指導管理費	看護指導費	
事業期間	令和 7年度	根拠法令	看護師等の人材確保の促進に関する法律			針路	03 介護・医療体制の充実	SDGsゴール	3
						分野施策	0304 医師・看護師確保対策の推進	SDGsターゲット	3-8
1 事業概要 2040年に向けて看護ニーズが一層高まることが見込まれる中、看護師を志望する学生や看護師等養成所の運営支援等を行うことにより、県内で働く看護師の安定的な確保・定着を図り、地域医療提供体制を維持する。 看護師等養成所ICT活用支援事業 73,390千円				5 事業説明 (1) 事業説明 養成所が行う生産性向上に資するICTを活用した学習環境整備の取組を支援するとともに、オンデマンド授業やオンライン授業の導入における課題や効果を検証するモデル事業を実施し、好事例については共有を図る。 ア 設備整備補助 オンデマンド授業やオンライン授業に必要な設備整備費用を補助する。 (ア) 補助額：48,000千円 (6,000千円×2/3×12課程＝48,000千円) (イ) 補助率：2/3 (補助上限額 1課程当たり4,000千円) (ウ) 補助対象：看護師等養成所 (大学・短期大学・公立を除く) (エ) 対象経費：オンデマンド授業及びオンライン授業に要する経費 イ アドバイザー派遣事業 モデル校における課題を抽出し、適切な設備の導入を支援するために、アドバイザーを派遣する。 (ア) 業務委託等：25,390千円 (イ) 委託内容：課題分析、検証、提案、助言、進捗管理、好事例の紹介等					
2 事業主体及び負担区分 【内閣府】 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金 (国2/3・県0) 事業者1/3				(2) 事業計画 ア モデル校12課程を選定し、オンデマンド授業やオンライン授業に必要な設備整備費用を補助 イ アドバイザーを派遣し、モデル校における課題を抽出し、適切な設備の導入を支援 ウ モデル校においてオンデマンド授業やオンラインによる合同授業などを実施 エ 県・モデル校・アドバイザーによる協議体を設置し、課題や効果を検証 オ 他の養成所に対して、課題や効果を共有し、横展開を図る					
3 地方財政措置の状況 なし				(3) 事業効果 オンライン授業やオンデマンド配信授業などICT活用支援を行い、いつでもどこでも授業を受けることができる。 学習環境を整え、シングルマザーや社会人などの多様な人材を看護師養成所に入学しやすくする。 【活動指標 (アウトプット)】 授業活用養成所 (12課程)、導入による成果の他養成所への報告 【成果指標 (アウトカム)】 継続的に遠隔授業を実施する養成所 (52課程中20課程)					
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1.0人＝9,500千円									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	補正後の 予算額
		国庫支出金							
決定額	73,390	73,390						0	73,390
現計額	0							0	

事業内訳書

事業名	看護師等養成所ICT活用支援事業		
単位事業名	看護師等養成所ICT活用支援事業	予算額	73,390千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
国庫支出金・ 医薬費補助金	73,390	—	【内閣府】 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金 補助率 定額
合計	73,390	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
委託料	25,300	—	ICT活用支援アドバイザー派遣業務委託
使用料及び賃借料	90	—	協議体会議等に係る会場賃借料
負担金、補助及び交付金	48,000	—	看護師等養成所へのICT活用支援補助金 6,000千円×2/3×12課程
合計	73,390	—	